

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

| | | | | | |
|--------|----------|-------------------------|------|--------|-----------------|
| 総合計画体系 | まちづくりの目標 | 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち | 評価担当 | 局名 | 市民政策局 |
| | 政策 | 国際・国内交流の推進と定住の促進 | | 課(室)名 | 地域振興課 |
| | 施策 | 移住・交流の促進 | | 電話番号 | 087-839-2278 |
| | 基本事業 | 選ばれる地域づくりの推進 | | 事業実施主体 | 市 |
| | 事務事業 | 地域おこし協力隊活動事業 | | 事業期間 | 平成 28年度～平成 35年度 |

【事業全体概要】

| | | | | | |
|--------|--|----------|----|---------|-------------------|
| 事業の概要 | 本市の中でも、特に人口減少により地域力が低下している山間部や島しょ部において、地域力の維持及び強化並びに地域の活性化に資するため、都市地域等からの人材を積極的に誘致し、「地域おこし協力隊」を配置する。 | | | | |
| 29年度概要 | 山間部や島しょ部への隊員の配置（女木、男木、塩江（2人）、本庁） 地域コミュニティ協議会と連携した地域協力活動 【特別交付税措置対象】 | | | | |
| 重点取組事業 | 特別重点 | 市長マニフェスト | 5- | 事務事業の類型 | ソフト事業（法律による実施義務無） |

【事業の目的】

| | |
|------------------|--|
| 対象（何を） | 山間部や島しょ部など、人口減少により地域力が低下している地域。 |
| 意図（どのような状態にしたいか） | 対象地域において、県外から採用した地域おこし協力隊の隊員を配置し、地域協力活動に従事させることにより地域力の維持・向上を図る |

【事業の活動】

| 活動指標名（具体的にどのような活動をしたか） | 単位 | H26 | H27 | H28 | H29 | 中期目標 H30 |
|------------------------|----|-----|-----|-----|-----|----------|
| 隊員の活動地域数 | 地域 | | | 3 | 4 | 4 |

【事業の成果】

| 成果指標名（どのような成果が得られたか） | 単位 | 種別 | H26 | H27 | H28 | H29 | 中期目標 H30 |
|---|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----------------------|
| 隊員と地域コミュニティ協議会との連携により実施した事業数 | 事業 | 目標値 | | | 5 | 5 | 5 |
| | | 実績値 | | | 3 | | |
| 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成28年度は5名の隊員による活動を予定していたところを、隊員2名の退任などにより、2名での活動となっていたが、欠員となった男木担当の1名が補充できたことにより、当初目標値の60%の地域コミュニティ協議会と連携した地域協力活動事業を実施できた。 (目標達成度) | | | | | | | (達成度) 60.0% 21点 |
| 成果指標名（どのような成果が得られたか） | 単位 | 種別 | H26 | H27 | H28 | H29 | 中期目標 H30 |
| | | 目標値 | | | | | |
| | | 実績値 | | | | | |
| 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度) | | | | | | | (達成度) |

【コストの推移】

| 指標名 | 単位 | 平成 26年度（決算） | 平成 27年度（決算） | 平成 28年度（決算） | 平成 29年度（予算） |
|---------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| トータルコスト | [円] | | | 12,212 | 25,125 |
| （事業費） | [円] | | | 7,501 | 20,414 |
| （職員人件費） | [円] | | | 4,711 | 4,711 |

【評価】

| | | | |
|------------|---|--------------------------|------|
| 評価ランク（A～D） | C | 今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止） | 改善継続 |
|------------|---|--------------------------|------|

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成28年度から、本庁、男木、女木各1名、塩江2名の計5名体制での活動を予定していたが、隊員の退任等により本庁及び塩江2人目の委嘱を行うことができず、最終的には3名での活動に留まった。
また、隊員の活動に伴う経費支出の在り方や、本事業の担当課について、隊員が円滑に活動できる環境の確保という観点での改善が課題となっている。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

今後、欠員となっている本庁担当及び2人目の塩江担当の地域おこし協力隊員を早期に補充を行う。
また、隊員の活動に伴う経費については地域コミュニティ協議会との連携を前提とする補助金化を進めるとともに、政策課から地域振興課に事務移管する。